

2023年 2月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 2月 5日 (日) 集会 (クリエート浜松21号室)
司会：溝口 春江 感話：榎本 潤
聖書講話：マルコによる福音書 14章12節～21節
「最後の晩餐(1)ー過越の食事とユダの裏切り」 水戸 潔
- 2月 12日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会：大手 美千代 感話：伊藤 純子
聖書講話：マタイによる福音書 7章12節
「看ご学校設立へ祈り」 武井めぐみ
- 2月 26日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会：永井 徹
聖書講話：イザヤ書 66章
「私が顧みるのは苦しむ人、霊の砕かれた人、私の言葉におののく人」 武井 陽一

静かなる細き御声に聴く ー無法な戦争の危機に際してー 溝口 正

日本の、そして全世界のキリスト教会、集会、さらに独り一人の、すべてのキリスト者が、超大国の国連を無視した無法な武力行使を前にして、今こそ霊の耳を研ぎ澄まして天を仰ぎ、静かなる細き御声に聴き従うべきときである。祈りを集中すべきときである。主の啓示を受けた者は、この世においていかに小さい者でも、主の御旨を公(おおやけ)に証しする使命がある。私に示された御声を以下に書き記す。

神の御旨は 平和の主イエス・キリストにより全世界に証しされている。
主は全ての人の罪を赦すために十字架にかけられた。
主の憐みは全人類のすべての人に注がれている。
天より降り注ぐ主の愛を、地に住むすべての人々よ、仰ぎ見よ、受け入れよ。
たちどころに主の平安があなたを包み、全地に平和が訪(おとず)れるであろう。

全人類の救主、平和の主は言われる。
「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」また主は言われる。
「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。
さらに、平和の主は言われる。
「私について来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさい。」…と。

全世界は、特に超大国は主に背(そむ)いて戦争の危機をもたらした。
戦争を作り出す者は、目に見えぬサタンである。超大国はサタンによって手玉に取られた。
平和を実現するために働らく者は、自分を捨てて平和の主に従うべきときである。
すべてを捨てて十字架を負うべきときである。
御言葉の鋭い剣をもってサタンと戦うときである。
サタンは最後の神の審判によって必ず滅ぶ。

特に主は言われる。
ブッシュよ、自らを義とせず 主の御前に頭を垂れ、武力行使を放棄せよ。 …ロシア 米欧国
フセインよ、自分を捨てて民の安全と平和を第一とせよ。 …ウクライナ
小泉よ、米国を神とせず、平和憲法に忠実たれ。 …日本
すべての国よ、戦争はサタンの企らみであることを知れ。

主よ 御心を成したまわんことを！ (2003年3月 『復活』第434号)